

くらしの情報

新処理施設・新最終処分場
のお知らせ編集・発行
一関地区広域行政組合(一関市・平泉町)

新処理施設等の整備に関する住民説明会を開催します

組合で新たに整備を計画しているエネルギー回収型一般廃棄物処理施設(以下「新処理施設」という。)、マテリアルリサイクル推進施設^{※1)}(以下「新リサイクル施設」という。)及び一般廃棄物最終処分場(以下「新最終処分場」という。)の検討状況について、次のとおり説明会を開催いたします。ご都合のつく会場にご参加くださいますようお願い申し上げます。

1 対象者 一関市・平泉町の住民の方

2 日時及び会場

日付	開始時間	会場	定員
2月20日(月)	午後7時	平泉町学習交流施設エピカ(研修室1・2) (平泉町平泉字志羅山25-3)	約30人
2月25日(土)	午前10時	一関市総合体育館ユードーム(会議室2・3) (一関市狐禅寺字石ノ瀬25-3)	約40人
2月25日(土)	午後2時	弥栄市民センター(和室) (一関市弥栄字茄子沢198-3)	約30人
2月26日(日)	午前10時	マリアージュ (一関市千厩町千厩字石堂26-5)	約100人

3 主な説明内容 (1) 新処理施設の検討状況について
(2) 新リサイクル施設の検討状況について
(3) 新最終処分場の検討状況について

- ◆ 説明会は1時間30分程度を予定しています。
- ◆ 来場者が定員を超えると、入場を制限する場合がありますのであらかじめご了承ください。

※1) マテリアルリサイクル推進施設…現在、組合には、一関清掃センターのリサイクルプラザと大東清掃センターの粗大ごみ処理施設の2つのリサイクル施設があります。新処理施設の整備に伴い、次期リサイクル施設の整備についても同一敷地内に統合整備する方針としていたことから、今年度にマテリアルリサイクル推進施設の整備基本計画の策定を進めているところです。

ご来場される方へのお願い

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、次の事項についてご協力をよろしくお願いいたします。
発熱、咳、全身痛、風邪などの症状がある場合は、ご来場を自粛願います。

マスクをご持参の上、着用してご入場ください。

入口で手指消毒をしてからご入場ください。

人と触れ合わない距離を開けてお座りください。

咳やくしゃみをするときは、マスクやハンカチ、ティッシュペーパーなどで口をしっかりと覆うよう、「咳エチケット」にご協力ください。

30分に1回程度は会場の換気を行いますので、ご了承ください。

新最終処分場の整備に関する 説明会を開催しました

昨年11月19日から25日にかけて、一関市の千厩地域内5会場において新最終処分場の整備計画に関する説明会を開催しました。

新最終処分場の整備については、平成30年3月に候補地選定を開始して以来、4年8か月、建設候補地の絞込みや施設の概要について検討を進め、進捗状況にあわせ、ご意見をいただく機会として説明会を開催してきました。

令和元年10月に新最終処分場の建設候補地を4か所と決定した以降、令和元年12月から約3年の時間をかけて、組合管内の60会場で66回の説明会を開催し、延べ1,283人に出席をいただきました。令和2年11月に新最終処分場の建設候補地を「一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか」に絞り込み、令和4年3月にこれまで説明してきた内容を「一般廃棄物最終処分場整備基本計画」としてとりまとめました。

そのような中、昨年9月26日に住民団体より新最終処分場建設候補地の変更を求める署名の提出があり、お話しの中で千厩町内（千厩地域）の皆様への説明が不足しているとのこと指摘をいただきました。このご指摘を受け、組合では、改めてこれまでの説明会において説明してまいりました候補地選定の経緯や整備基本計画の概要を説明するための説明会を開催しました。

1 開催日時

開催日時	会場	参加者数
11月19日（土）午後 2 時から	一関市役所千厩支所	46 人
11月21日（月）午後 7 時から	奥玉市民センター	31 人
11月22日（火）午後 7 時から	磐清水市民センター	32 人
11月23日（水・祝）午前10時から	マリアージュ	97 人
11月23日（水・祝）午後 2 時から	マリアージュ	61 人
11月25日（金）午後 7 時から	小梨市民センター	55 人
		合計 322 人

2 主な説明内容

- (1) 候補地選定の経過について
- (2) 一般廃棄物最終処分場整備基本計画の概要について

配布資料はこちらのQRコードから

一関地区広域行政組合ホームページ

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>



3 主な質問や意見

質問	回答
水害が心配である。最終処分場に降った雨は北ノ沢川を通過して千厩川に流れると思うが、ゲリラ豪雨が降ったときに最終処分場に降った雨の影響で、水害が発生しないか。また、埋め立てた廃棄物が流されてくることはないか。	最終処分場の埋立エリアに降った雨は、浸出水調整槽という槽に一旦溜められ、浸出水処理施設において浄化処理を行ってから河川に放流されるが、大雨が降ったときには浸出水調整槽に溜め置くことができる。浸出水調整槽で不足する場合は、埋立地自体に溜めることも可能である。 また、最終処分場の埋立エリア周辺に降った雨は、防災調整池に一旦溜められ、河川の水位が下がってから徐々に放流される仕組みとなる。最終処分場の施設は構造的に強固で頑丈なものに作られる。全国的に見てもゲリラ豪雨の影響で最終処分場の施設が壊れて、埋め立てた廃棄物が流されたという事例は報告されていない。

質 問	回 答
<p>学校との距離を300メートル以上離すという基準であるが、余りにも近いのではないか。</p>	<p>最終処分場の整備にあたり距離に関する規制はないが、300メートルの距離の考え方は、第一次選定の際の対象から除外する区域の議論の中で、学校、病院などの施設については静寂性が必要と考え、その周辺は除外することとしたもの。現在は廃止されているが、旧建設省の都市計画決定の際の計画標準におけるごみ焼却場の距離基準が300メートルであったことから、静寂性の確保の観点から採用したものであった。</p>
<p>建設候補地の選定の評価項目に市民の声が反映されていない。最終処分場が必要であることは皆さんが理解しているが、建設候補地は北ノ沢ではないと思う。</p>	<p>実際に住民説明会の中で出された意見を反映し、評価項目に追加しながら候補地の絞り込みを進めてきた。評価項目そのものの変更が必要となれば、第一次選定の段階からのやり直しが必要と考える。途中からのやり直しは、現建設候補地を外すためのやり直しになってしまうと考える。建設候補地については4年間以上模索しながら、説明会を開催して意見を伺うということを積み重ねてきた。最終処分場のあり方に議論を集中させていただければありがたい。</p>
<p>水質調査は埋め立てが終わってから何年間やるものか。</p>	<p>埋め立て終了後の水質調査の実施期間については、廃止基準というものが、水質を含め最低2年間は埋め立て終了から調査を行うこととされている。最低2年間は水質調査を継続し、すべての項目が基準に合致していることを確認してから廃止するという事になっている。</p>
<p>一関市も「地方創生」、「まちひとしごとの創出」を進めているが、千厩町はこれから外れるのか。千厩町の人口がどんどん減少していくという危惧がある。それを止めるためにも、北ノ沢地区はこれから若い人たちが住む、そして千厩町を盛り上げていくためにどうしても必要な場所だと思っている。</p>	<p>一関市が取り組んでいる「地方創生」、「まちひとしごとの創出」は、一関市全域を対象として、それぞれの地域の活力が維持できるような取組であると考えている。千厩町を外して地方創生を行っているということはない。新処理施設、新最終処分場は迷惑施設、嫌悪施設というイメージを持たれていると思うが、現在はそういった施設ではなくなっていると考えている。最終処分場があるとその地区の発展を阻害すると思われる方もいると思うが、私どもは決してそうだと思っていないし、そうでないものを作ろうと思っている。</p>

廃棄物処理施設の余熱活用事例 現地見学会を開催しました

現在、「弥栄字一ノ沢ほか」を建設候補地としている一般廃棄物処理施設の整備にあたり、建設候補地周辺の住民の方を対象に、廃棄物を焼却した際に発生する熱（余熱）を活用した事例を見学し、施設に対する理解を深めていただくことを目的として、11月29日（火）に見学会を開催しました。

当日は4名の方の参加があり、余熱を活用した温室ハウスで農作物の栽培を行っている民間施設を見学していただきました。



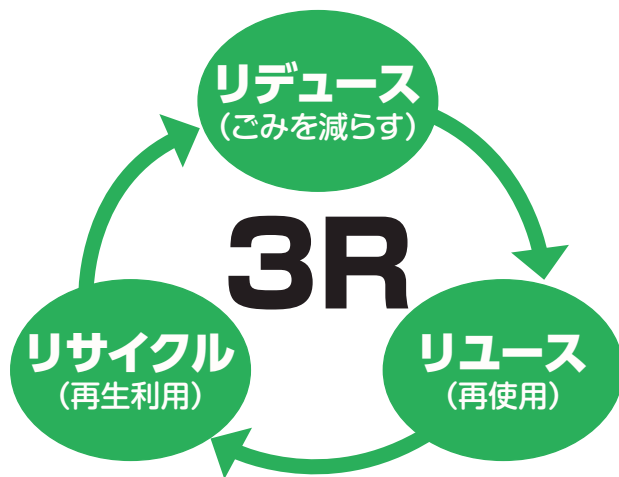
○豆知識 3R（スリーアール）

3R（スリーアール）とは、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つのR（アール）の総称です。

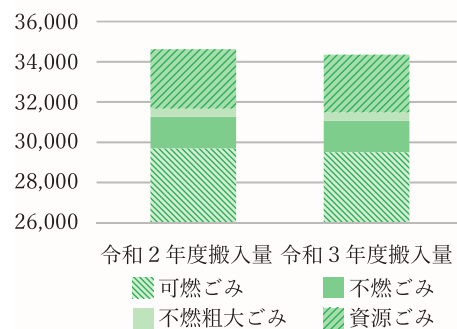
組合管内（一関市・平泉町）から排出される一般廃棄物は、一関清掃センター（一関市狐禅寺）と、大東清掃センター（一関市大東町摺沢）で処理しています。

両施設への一般廃棄物の搬入量は、約3万4,400トン（令和3年度実績）となっており、年間1人当たり約290キログラムとなります。

お金をかけて処理しているごみも、もとをたどれば資源です。限られた資源を有効利用するため、3R（スリーアール）を実践していきましょう。



ごみ搬入量実績 [単位：t]



	令和2年度搬入量	令和3年度搬入量
可燃ごみ	29,688.57	29,518.11
不燃ごみ	1,594.24	1,569.29
不燃粗大ごみ	452.70	468.53
資源ごみ	2,928.24	2,842.73
合計	34,663.75	34,398.66

ごみ分別アプリを活用してください

家庭から出されるごみの分別方法を、スマートフォンやタブレットで手軽に確認できるアプリです。

ごみ収集カレンダーやごみ分別時点、よくある質問など、迷ったらすぐ検索できます。

※日本語版と英語版を配信しています。

日本語版

Android ios

英語版 (English Version)

Android ios



組合では、住民の皆様からいただいたご意見などを踏まえながら、より良い施設となるよう施設整備検討委員会で検討し、事業を進めてまいります。詳しくは、組合ホームページをご覧ください。

今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■問合せ先 一関地区広域行政組合 総務管理課

〒021-8501 一関市竹山町7-2

TEL 21-2111 内線 8751 FAX 31-3224

一関地区広域行政組合ホームページ

URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>

